

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 6 号

平成29年10月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 影山 晃一

10月初旬は半袖の陽気でしたが、2週間後には秋の気配。今は、秋の深まりを感じます。季節の変化の中、児童は新たなめあてをもち、2学期をスタートしました。

学校づくりへの取組

いじめゼロに向けて～思いやりのある子ども～

◇ 思いやりをもって生活しよう ～10月の生活目標～

10月12日の始業式では、学年代表の3人がめあてを発表しました。「持久走大会に向け練習し、順位を上げたい」、「漢字を繰り返し練習し、たくさん覚えたい」、「縦割り班では、全体を見て声をかけ、下級生をまとめたい」など、自分をさらに高めようとする意欲にあふれていました。



そして、全員で、10月の生活目標を確かめ、心構えを伝えました。

「思いやりをもって生活しよう」。

わがままや自分勝手は、相手を思う、優しい気持ちに変えましょう。

友達を悲しくする言葉や行動は、相手を笑顔にする言葉、行動に変えましょう。

いい方向に変えるのが、身の回りの人を大切にするという、みなさんが、これまで身に付けてきた思いやりです。10月の生活目標を、こころ、言葉、行動で達成しましょう。

教育目標の一つ、「思いやり」が、さらに浸透するよう努めます。

◇ いじめゼロ強調月間 ～思いやりの木～

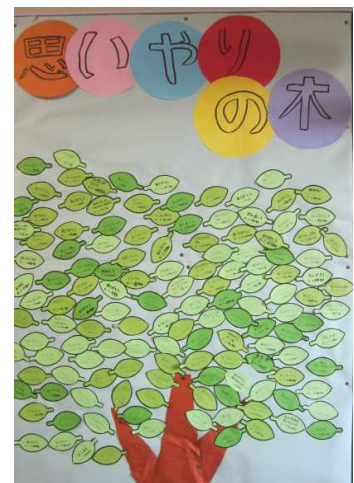
10月は、6月に続き、本年度2回目の「いじめゼロ強調月間」です。いじめのない、思いやりで満ちた学校にするため、次の取組を行いました。

- いじめに関するアンケート調査の実施
- いじめに関する内容（「人権尊重」、「思いやり」など）を扱う授業の実施
- 「思いやりの木」の作成

「思いやりの木」が新登場です。一人一人が好きな「ふわふわことば」を葉っぱの形をしたカードに書き、幹に張り付けます。

「ありがとう」「大丈夫」「きっとできるよ」「それ、いいね!」など、ほっとする、笑顔になるメッセージが満載です。

6月に作った各学級のスローガンとともに、思いやりの気持ちを学校全体に発信しています。



進んではたらく子ども

◇ 稲刈り（10月4日）

田植えが5月12日。日照不足の影響もなく、海道の水、空気、そして、水田を提供くださった協力者の足音と愛情を浴び、立派に生長しました。児童は、一本一本大切に刈り、束ねて丁寧に置き、食の大切さ、収穫の喜び、働く意義などを実感しました。

作業は、1年生の手助けを6年生が行うなど、互いに力を合わせてできるようにし、相手を思いやる心も育てました。収穫したお米は、11月に給食の食材として使用する予定です。海道の自然の恵みに感謝しながら、味わいます。



よく考える子ども ～本年度の重点～

◇ 授業研究会（10月20日）

本校では、「自ら学び、生き生きと表現する児童の育成」に向け、学級活動の授業の工夫・改善に取り組んでいます。

当日は、3年生の「よりよいクラスにするために」、6年生の「縦割り班活動を盛り上げよう」の授業を公開しました。児童は、学校生活をより充実するための方策を「よく考え」、ペアやグループで考えを伝え合い、新たな気付きを得て自分の行動目標を決め、実践します。授業の後は、市教育委員会から招いた指導者から助言をいただき、学び合い、話し合いについての研究を深めました。

本校の取組は、11月14日に、宇都宮市、上三川町の教員を対象に発表します。



明るく元気な子ども

◇ 竹馬・一輪車（10月2日～）

体づくりの一環として、昔からの遊びに親しむとともに、バランス感覚を養えるよう、休み時間に竹馬、一輪車の貸し出しを始めました。多くの児童が挑戦し、最初はこわごわと乗っていても、回を重ねるうちに、みるみる上手になり、悲鳴が歓声に変わってきました。貸し出しは10月末でいったん休止し、今後について検討します。



お知らせ

校内外の出来事で、保護者や地域の皆様にお知らせしたいことを取り上げます。

就学時健康診断（10月26日）

平成30年度の入学予定児童を対象に実施しました。健康診断の案内、誘導などの仕事をするのは、来年度の最上級生である5年生。優しく丁寧に接し、安心して校内を回れるよう行動できました。学校の顔としての自覚も高まりました。

入学予定者数は28人。現段階では1学級の予定です。